

**令和6年度予算主要事業の概要**  
**(事業別説明資料)**

**神岡振興事務所**



## 目 次

カミオカラボの展示リニューアル .....	3
先端科学都市構想の推進 .....	4
ロストラインパーク構想の推進 .....	5
旧深山邸利活用の推進 .....	6

注：タイトル末尾に\*印がある事業は所属ごとの概要資料のみに掲載しています（\*印がない事業は主要事業編から再掲となります）

## **拡充** カミオカラボの展示リニューアル

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
11,643	ふるさと納税 (特定目的) 11,643	委託料 11,600 その他 43
(前年度予算 519)		

### 2 事業背景・目的

ひだ宇宙科学館カミオカラボは、平成31年3月の開館から、来場者数が40万人を突破するなど、市内で行われている世界最先端の宇宙物理学研究をわかりやすく学べる施設として、市内外から大きな注目を集めています。

こうした中で、同施設も開館から5年が経過し、展示機器等について更新が必要な時期を迎えています。他方で、ハイパーカミオカンデの建設やKAGRAによる重力波観測の本格化、カムランド2禅計画など、市内で行われている宇宙物理学研究について次期研究の開始に向けた新たな動きも始まっています。

こうしたことから、カミオカラボを最新の情報を提供できる施設へとリニューアルすることで、同施設への誘客促進を図るとともに、市内で行われている宇宙物理学研究の魅力発信につなげます。

### 3 事業概要

#### ①【新規】改修計画の策定 (9,000千円)

令和5年度の検討結果を基に、電子機器の老朽化等も調査し、より分かりやすい展示となるように、研究機関の監修を受けながら改修計画を策定します。また、改修計画では、研究開発等の進捗に合わせたタイムリーな展示が行えるよう、複数年度にわたる改修スケジュールについても合わせて検討します。

#### ②【継続】検討会議の開催 (43千円)

上記の改修計画については、施設のコンセプトである「わかりやすく楽しく伝える」「世界最先端の宇宙物理学と多くの人々を繋ぐ場」に基づいた適正な改修となるよう、研究者等の関係者で組織する検討会議において検討したうえで策定します。

#### ③【新規】ワンダーシップの基礎映像 (デジタルアーカイブ) の撮影 (2,600千円)

カミオカラボのメインコンテンツである「ワンダーシップ」で上映する新たな映像を制作するため、ハイパーカミオカンデの建設等、その時しか撮影できない貴重な映像資料の撮影を行い、デジタルアーカイブ化します。

担当課：神岡振興事務所市民振興課 (☎0578-82-2253) 予算書：P.56

## 拡充 先端科学都市構想の推進

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
3,695	ふるさと納税 2,095 負担金 1,600	負担金 1,300 使用料 610
(前年度予算 3,021)		その他 1,785

### 2 事業背景・目的

市では、東京大学宇宙線研究所及び東北大学ニュートリノ科学研究センターと連携協定を締結し、学術研究、人事育成及び地域社会の発展に努めることとしています。

このため、宇宙物理学研究の拠点の地であることを活かし、同研究における様々な機会を捉えて積極的に情報発信するとともに、普及啓発のための取組み等を行うことで地域振興と先端科学都市としての発展につなげます。

### 3 事業概要

#### ①【新規】東海村交流イベントの開催 (703千円)

スーパーカミオカンデ実験と関わりの深い人工ニュートリノの発射基地「J-PARC」の所在地である茨城県東海村において、飛騨市ファンクラブの活動を行うことにより、自治体間の交流や連携を深めるとともに、宇宙物理学を通じた飛騨市の魅力発信と関係人口の拡大に繋がります。

#### ②【拡充】研究施設の一般公開事業等の実施 (2,581千円)

東京大学宇宙線研究所の協力を得て、スーパーカミオカンデ及びKAGRA (カグラ) の一般公開を全国公募形式により開催します。なお、令和6年度はハイパーカミオカンデの大空洞が完成する予定であるため、東京大学宇宙線研究所と連携してハイパーカミオカンデに対する関心を深める機会を設けます。

#### ③【継続】研究の支援活動 (411千円)

期成同盟会による国への要望活動を継続実施します。また、国会議員等による施設視察の費用を支援することで研究予算の確保につなげます。

#### ④【継続】連携商品の開発・販売 (ゼロ予算)

飛騨市内の事業者と協力し、スーパーカミオカンデなどの連携商品を開発・販売することを通じ地域振興を図ります。

## **拡充** ロストラインパーク構想の推進

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】		【主な使途】	
23,310	鉄道資産基金	7,964	委託料	21,670
	ふるさと納税	14,995	工事請負費	1,289
（前年度予算 21,424）	一般財源	351	その他	351

### 2 事業背景・目的

「鉦山のまち・神岡」を支え続けた旧神岡鉄道の全長は19.9km、その6割がトンネルと鉄橋で構成されることから「奥飛騨の地下鉄」とも呼ばれています。平成19年にはその一部区間を活用したレールマウンテンバイク「ガッタンゴー」、平成29年度には「おくひだ号」の運転体験が始まり、神岡特有の鉄道遺産を活用したアトラクションとして全国の注目を集めるとともに、令和5年度には過去最多の7万人超が訪れる地域の観光の柱へと大きく成長を遂げています。

一方で、竣工から50年を経過しているトンネルや鉄橋等は老朽化が進み、令和8年度までに処分が必要なPCB含有塗料の除去や溪谷コースにおける落石防止対策など、早急な対策が必要な箇所もあります。

これらのことから、「ガッタンゴー」の運営団体であるNPO法人神岡・町づくりネットワークと連携し、危険箇所の早期発見に努めることで、安全性を確保するための計画的な点検や対策工事等を検討・実施するとともに、市独自の廃線等利活用の取組みを全国に向けて積極的に発信することで交流人口の拡大を図ります。

### 3 事業概要

#### ①【継続】 構造物の点検及び対策の検討（21,670千円）

安全にガッタンゴーを楽しんでいただけるよう、毎年実施している施設の安全調査点検を継続実施するほか、溪谷コース法面の落石対策工詳細設計、神岡橋梁他のPCB含有塗料の除去に向けた詳細設計を行います。

#### ②【新規】 旧神岡鉄道施設内におけるPCB含有機器の撤去（1,289千円）

旧神岡鉄道施設内で確認されたPCB含有の蛍光灯安定器等を撤去します。

#### ③【継続】 廃線利活用PR活動の推進等（351千円）

NPO法人神岡・町づくりネットワークの協力を得て、市外で開催されるイベントでガッタンゴーの乗車体験会を開催することで、全国に向けて廃線利活用の可能性をPRします。

担当課：神岡振興事務所市民振興課（☎0577-82-2253） 予算書：P.56

## 拡充 旧深山邸利活用の推進

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】		
1,579	ふるさと納税	1,579	工事請負費	1,000
			備品購入費	500
(前年度予算 806)			印刷製本費	79

## 2 事業背景・目的

最近アニメにも登場し、一般的にも知られるようになった「遊郭」は、今から117年前の明治40年には神岡町船津にも存在し、通称「船津宮下遊郭」と呼ばれていました。

現在、市では、かつて遊郭であった若松家（旧深山邸）を譲り受け、管理を行っていますが、これまでは街歩きガイドによる施設案内としての利用に留まっていました。

このような中、この施設を広く市民に知っていただき、さらに利用していただく契機とするため、令和4年度は遊郭見学会、令和5年度には市民の手芸作品等の展示会を開催するなど、多くの市民に来場いただくことができました。

令和6年度では、神岡町の歴史的建物の有効利活用の促進に向けて、市民の憩いの場となるような「市民交流ギャラリー」としての整備や、利用者の利便性を図るための施設整備、さらには花街や遊郭についても紹介できるような常設展示「花街資料館」を設置することで、施設への理解と利用促進を図ります。

## 3 事業概要

### ①【新規】駐車場の整地（1,000千円）

利用者の利便性向上のため、施設横の空き地スペースを駐車場として利用できるように整地します。

### ②【拡充】作品展や「市民交流ギャラリー」の企画・開催（500千円）

各分野、愛好家の作品発表や展示を行いながら、地域住民の交流の場とするため、展示パネルや展示テーブル、交流・体験スペースの備品を整備します。

### ③【拡充】展示コーナー「花街資料館」の設置（79千円）

花街や遊郭の歴史等について紹介する展示コーナーを設置します。